

令和3年度帯広市教育研究所

第2回運営委員会

日 時

令和4年2月 書面開催

出席者

市之川 敦子 委員、岸 梅 哲 郎 委員、澤 田 靖 委員、
芹 澤 拓 哉 委員、堂 山 貴 也 委員、新 津 貴 裕 委員、
野 田 和 宏 委員、野 原 圭 介 委員、政 野 麗 子 委員、
松 山 さとみ 委員、山 崎 真 委員、渡 邊 毅 広 委員、
西 田 健 一 所長、片 山 剛 指導主事、十 倉 智 秀 指導主事、
笹 木 卓 三 調査研究専門指導員、橋 本 民 枝 事務員、

議 事

- (1) 令和3年度事業報告
- (2) 令和4年度事業計画（案）
- (3) 教育研究所運営に係る意見・質問

《運営委員会からのご意見》

(1) 令和3年度事業報告について

- ・ 研究所員による調査・研究が、多方面にわたっており、継続的に年々充実されている。
- ・ 授業改善通信を全教職員へ配付したり、「おびひろ市民学」に係るオリエンテーション動画や副読本に対応した評価資料、不登校対策支援シートを作成したりするなど、きめ細かな内容である。
- ・ 5つのグループが、それぞれ絶えず研鑽を積み、成果をあげていることに敬意を表したい。帯広の子どもたちにとって、大変有意義な活動である。
- ・ 調査・研究での成果物は、大変分かりやすく、詳しく説明されており、今後の教育活動に役立っていくものである。
- ・ 研修についても、ZOOMを活用したり、書面で行ったりなど、時宜を得て、充実した内容の研修講座であった。
- ・ コロナ禍の中、教育研究所からの高い発信力が、帯広市の教育を前進させた1年であった。
- ・ 教育講演会は、ZOOMを活用したことにより交通事故等の心配もなく、著名な講師から質の高い講演をいただけたということで、今後も継続してよいのではないかと考える。
- ・ 「授業改善通信」や「おび学通信」等、学校現場にとって大変有用で興味深い資料を提供いただき、感謝している。職員室で通信を見ながら会話が弾んでいる場面をよく目にした。
- ・ 不登校に係る自校の立ち位置を視覚化できる「不登校分析シート」は、良い取組である。また、改善への取組例を示した「不登校支援シート」の作成も評価できる取組である。

(2) 令和4年度事業計画(案)について

- ・時代に即した情報教育への取組や、いじめの未然防止及び不登校への取組を引き続きお願いしたい。
- ・これからもさまざまな出前講座のようなものを是非、活用していただければと思う。
- ・GIGAスクール構想に対応する取組は、喫緊の課題であるため、学校現場に役立つ資料等の提供、支援を期待したい。

(3) その他、教育研究所の運営に関わって

- ・情報教育では、今後、1人1台端末により、教職員への負担も増えることと考えられるため、負担軽減となるための取組をお願いしたい。
- ・コロナ禍の中で、オンラインを活用した不登校児童生徒やコロナ不安で登校が難しい児童生徒へ、オンラインを活用した取組をしていただきたい。